



大球磨川

至誠 向学 鍛練
夢を持ち自ら学ぶたくましい生徒の育成
八代市立第三中学校
学校だより第1号
令和3年4月23日

「主体性」の育成を！

校長 稲岡博信

新入生111人、2年生122人、3年生103人、計336人(昨年比+8人)で新年度がスタートしました。始業式及び入学式で『「主体性」をもって取り組もう。自分の考えに基づいて、今何をしなければならないのかを考えて行動しよう』と話しました。昨年度の調査結果から、「家庭学習の時間が大変少ない」「スマホやゲーム使用の時間が長すぎる」「24時以降起きていて生活リズムが確立されていない」など、生徒の課題が浮き彫りとなったからです。さらに、4月から完全実施となった新学習指導要領の理念である、グローバル化や人工知能など技術革新が進む中、社会の変化に受け身に対応するだけでなく、「主体的」に向き合って新しい社会のあり方を形作っていくことが求められているからです。一人一台のタブレットPCが配付されたように、変わっていく社会に対応するためには、私たち教師も過去の踏襲だけでは乗り切れないわけで、新たな仕組みで教育を行わなければならない、また、生徒は「自ら」考えて課題に立ち向かっていかなければならないという意味でも、両者にとって大きな変革の年と言えます。今回、特に4つから新たに3つの柱(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)で規定された子供たちが身に付けるべき能力の中の「学びに向かう力、人間性等」については、教科教育にとらわれないより広い意味での人間教育についての目標となっています。互いに多様性を理解して仲間と協力する力や、「切れる子どもたち」と一時期叫ばれたように、自分の感情をコントロールする力や優しさ、思いやりなど、豊かな人間性のベースとなる資質と能力を「主体的」に伸ばすことに重点が置かれています。ご家庭でも家庭学習をはじめ、お子さんの「主体性」の育成に努めていただきますようお願いいたします。

入学おめでとう！



今年度も在校生、来賓は不参加での式となりました。氏名点呼では一人一人が元気に返事をする姿が見られました。「新入生誓いのことば」では、橋本彩良さんが、「新しい環境で新しい友達ができるかもしれない期待でいっぱいです。」「日々の生活を悔いのないよう大切に過ごしていきたいです。」と述べてくれました。また、在校生を代表して、奥田大翔くんが、「みなさんが早く三中に馴染めるようにサポートしていきます。」と述べました。先輩の力もかりながら、早く中学校生活になれ、みんなで楽しく過ごせるようになってほしいです。



見知りの会



4月12日(月)に生徒会主催の「見知りの会」がありました。執行部や各専門委員会からの活動の紹介のあと、無言で集まるゲームや○×ゲームなどを行い、新入生との親睦を深めました。後半は部活動紹介がありました。色とりどりのユニフォームを着ての紹介に、早く入部したい気持ちになった生徒も多くいたと思います。たくさんの生徒が部活動に励み、三中をより一層盛り上げてほしいです。



お知らせ

三中では、登下校の荷物が過重にならないようにするため、教科書類は教室に置いて帰って良いことにしました。その日の宿題や、そのために必要な教科書だけを持ち帰り、家庭学習に取り組んでもらいます。ご理解いただきますようお願いいたします。

また、併せて、各家庭でのお子様の学習用具の確認についてもよろしく願います。